

# 日本文化特論VB(文化交流)

選択 2単位

濱田 陽

## 1. 授業の概要(ねらい)

【学際的、国際的視野に立って日本文化を研究し、論述する力を身につける】

修士論文執筆の構想力、論述力を高めるための、発表・討論・論文検討機会を提供する。秋学期は論文中に展開される論理、学術用語、文献リストなどを検討し、研究テーマを深化させる重要な時期として位置づけている。

人文学にはアイデアを文章化する構想力、論述力が必要である。その向上のため「研究レジュメ」の改訂作業を指導する。研究テーマ設定には数度の再検討が不可欠であり、研究全体の意義を繰り返し見直す作業をしなければならない。「研究レジュメ」の精査、改訂を通じ「研究論文草稿」を作成する。本特論は、自身の研究を見直し、進展させる良い機会となるだろう。

## 2. 授業の到達目標

【「研究論文」をまとめる】

修士論文執筆に直結するテーマについて「研究レジュメ」を作成して研究発表を行い、その成果を反映させた「研究論文草稿」をまとめる。

## 3. 成績評価の方法および基準

研究発表・授業参加(50%)、「研究論文草稿」(50%)

## 4. 教科書・参考文献

参考文献

必要な資料はプリントで配布

## 5. 準備学修の内容

研究テーマを深化させるため、レジュメ、論述を定期的にプリントアウトし再検討する。研究意義、全体構成などをまとめる試みにも取り組む。常に参考文献をアップデートしていく。

## 6. その他履修上の注意事項

定期的に自分の研究テーマを再検討する習慣をつくってほしい。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 プレ発表(研究テーマ共有)1
  - ・夏休み中の研究について受講者間で意見を交換、共有する。夏休み課題である「研究推敲要旨」を語る(一人3分ずつ全員)。「研究案」(再稿)をもとに練り直し、1000-1200字で文字化したもの。印刷し二部持参)
  - ・個人研究発表順を決定する。
- 【第2回】 プレ発表(研究テーマ共有)2
- 【第3回】 個人研究発表1
  - ・「研究レジュメ」を作成、発表する。発表後、内容を精査、改訂する。
- 【第4回】 個人研究発表2
- 【第5回】 個人研究発表3
- 【第6回】 個人研究発表4
- 【第7回】 個人研究発表5
- 【第8回】 個人研究発表6
- 【第9回】 個人研究発表7
- 【第10回】 個人研究発表8
- 【第11回】 個人研究発表9
- 【第12回】 個人研究発表10
- 【第13回】 総まとめ・「研究論文草稿」提出1
  - ・発表で得た知見等を十分に反映させ、「研究レジュメ」を発展させた「研究論文草稿」を作成、提出する。
  - ・来年度演習、及び、卒業論文執筆を視野に入れた総まとめを行う。
  - \*進捗調整により個人研究発表等に充てる場合がある
- 【第14回】 総まとめ・「研究論文草稿」提出2
- 【第15回】 総まとめ・「研究論文草稿」提出3